

「障害者支援施設（施設入所支援）」の特例について

事業所番号	サービス種類	障害者支援施設	事業所名	利用定員
1234567890	生活介護	障害者支援施設	A事業所	55
1234567890	施設入所支援	障害者支援施設	A事業所	40

申請書には、定員は「15人」で記載する

・「障害者支援施設（施設入所支援）」（以下「障害者支援施設」とする。）で提供する日中サービスの定員には、夜間、障害者支援施設でサービスを受ける者も含まれていることから、支援金の算定にあたっては、重複する人数を除外する必要がある。

・上記の例では、「A事業所」の生活介護事業所の定員55人のうち、40人は、「A事業所」の障害者支援施設の利用者が利用する分であるので、支援金の算定の対象とする「A事業所」の生活介護事業所の定員は、 $55 - 40 = 15$ 人となる。

「障害者支援施設（施設入所支援）」の特例について（3以上のサービスを提供している事業所）

事業所番号	サービス種類	障害者支援施設	事業所名	利用定員
1234567890	生活介護	障害者支援施設	A事業所	25
1234567890	自立訓練（生活訓練）	障害者支援施設	A事業所	20
1234567890	施設入所支援	障害者支援施設	A事業所	40

申請書には、定員は「5人」で記載する

・「障害者支援施設（施設入所支援）」（以下「障害者支援施設」とする。）で提供する日中サービスの定員には、夜間、障害者支援施設でサービスを受ける者も含まれていることから、支援金の算定にあたっては、重複する人数を除外する必要がある。

・上記の例では、「A事業所」が提供する日中サービスの定員は、生活介護事業所と自立訓練（生活訓練）事業所とで合わせて45人（25人+20人=45人）となる。

この定員45人のうち、40人は、「A事業所」の障害者支援施設の利用者が利用する分であるので、支援金の算定の対象とする「A事業所」の生活介護事業所（自立訓練（生活訓練）事業所）の定員は、5人（45-40=5人）となる。

・この5人は、申請書において、「生活介護事業所」「自立訓練（生活訓練）事業所」のどちらで記載してもかまいません。

サービス種類を「自立訓練（生活訓練）」としていただいてもかまいません。

申請書の記載方法

事業所番号	サービス種類	障害者支援施設	事業所名	利用定員
1234567890	生活介護	障害者支援施設	A事業所	5
1234567890	施設入所支援	障害者支援施設	A事業所	40